

袋井市地域交流プラザ建設

地盤、工事の影響質問

住民説明会

老朽化した浅羽会館（袋井市浅名）に代わる市民交流施設として同市が浅羽支所東側に建設を計画している地域交流プラザ（仮称）の住民説明

会が二十三日、同会館で開かれ、市当局が今後の計画などについて住民と意見交換した。同プラザは旧浅羽町時代に計画が持ち上がり、

合併に伴い策定した新市建設計画でも新設が位置付けられた。計画では、スポーツにもコンサートにも利用できる座席可動型のホールをはじめ、児

童館機能を含む子ども交流広場、大小会議室、展示ギャラリーなどを併せ持つ予定。二階建てで敷地面積は九千五百平方メートル。総事業費は概算で二十五億円を見込む。本年度中に設計、用地買収を行い、平成二十一年四月の開館を目指す。

意見交換では、地盤の心配や工事の周辺への影響、公民館との連携などについて質問が相次いだ。この日が初めての住民説明会だったこともあり、住民への説明の遅れを指摘する意見もあった。同市は今後も節目ごとに住民の意見を聞く機会をつくっていく方針。



施設の概要について説明する市担当者—袋井市浅名